

北海道議会時報

第32巻第6号



北海道議会事務局

北海道議会時報 第32巻第6号 (昭和55年)

(表紙写真説明)

ノ リ ウ ツ ギ (サビタ)

日本各地に見られるユキノシタ科の落葉高木。種子をつける花は、円すい花序に多数開くが目立たず、中性花(飾り花)が白く目立つ。材は白く光沢があり、パイプなど小細工用に使われ、内皮からは糊をつくり、和紙をすく時に利用されてきた。

-----第6号もくじ-----

委員会の動き

議会運営委員会.....	1
常任委員会.....	2
特別委員会.....	8
石炭対策特別委員会	
北方領土対策特別委員会	
公害対策特別委員会	
企業会計決算特別委員会	

会 合

10都道府県議会議長会.....	13
北海道東北6県議会議長会.....	13

8月・9月のメモ

議 会 日 誌

////////////////////////////////////

▶ 8 月

- 1 日(金) 厚生委員会
- 4 日(月) 農務、文教林務各委員会
- 5 日(火) 商工労働、建設、農地開発、水産、
公害対策特別各委員会
- 6 日(水) }
- 7 日(木) }
- 8 日(金) } 決算特別委員会
- 11 日(月) }
- 12 日(火) }
- 18 日(月) 北方領土対策特別委員会
- 19 日(火) 総務、建設各委員会
- 20 日(水) }
- 21 日(木) }
- 22 日(金) } 決算特別、企業会計決算特別各委員
- 26 日(火) } 会
- 27 日(水) }
- 28 日(木) 決算特別委員会

▶ 9 月

- 1 日(月) 農務委員会
- 4 日(木) 公害対策特別委員会
- 6 日(土) 建設委員会
- 11 日(木) 水産委員会
- 17 日(水) 商工労働委員会
- 19 日(金) 議会運営委員会
- 25 日(木) 石炭対策特別委員会

委員会の動き

議会運営委員会

○9月19日(金) 午後1時10分、議会運営委員会
室において開議、午後1時42分
散会

委員長 吉田 政一(自民)

- ① 委員長から、社会党議員会から9月9日付けをもって、影山豊議員が脱会し、議員会長代行に山家勇議員が就任、所属議員数は28人となった旨届出があったこと及び9月12日付けをもって、影山豊議員から無所属議員会の結成届の提出があった旨並びにこれに伴う各派の所属議員数(自民58人、社会28人、道政10人、公明5人、共産2人、無所属1人、欠員1人)について報告の後、無所属議員控室について了承。
- ② 無所属議員の本委員会へのオブザーバー出席について、出席しないが議運決定事項は遵守する旨の申し出のとおり了承。
- ③ 議員の所属会派の異動に伴う議席の一部変更について、配付の議席表のとおり変更することに決定。
- ④ 委員長から、決算特別委員会並びに企業会計決算特別委員会の審査終了について報告の後、本件について、第3回定例会招集日当日の本会議において議決する扱いとすることに異議なく決定。
- ⑤ 第3回定例会の招集期日について、9月30日とすることを了承。会期については、24日間とすることを異議なく決定。
- ⑥ 総務部長から、第3回定例会提出予定案件について説明の後、

本間喜代人オブザーバー(共産)から、北見方面公安委員会委員の人事案件に関し、前回と同様の案件を今回提案した場合の前回の議決の効力について
質疑があり、総務部長から答弁の後、本間喜代人オブザーバー(共産)及び副議長から意見があり、総務部長から応答。委員長から本件の取扱いについて発言。ついで、
保格博夫委員(社会)から、日高横断道路

の道道認定に関する案件提案の意向と環境影響評価条例に基づく関係部の諸手続きとの関連等について

質疑及び意見があり、総務部長から答弁の後、委員長から、提出予定案件中の北見方面公安委員の人事案件について、選任経過の説明を提案時に行うことを了とすることををはかり、異議なく了承。なお、本件の取扱いについて提出された場合は、提案説明後、委員会付託を省略し先議する扱いとすることををはかり、異議なく決定。

- ⑦ 総務部長から、冷害に関する概要について報告の後、本会議において知事から本件の報告を行うことを了承。
- ⑧ 冷害対策特別委員会の設置について、配付の試案(名称は冷害対策特別委員会、設置時期は9月30日、構成は27人<自民15人、社会7人、道政3人、公明1人、共産1人>、正副委員長の配分は委員長自民・副委員長社会、委員名簿の提出は9月29日午後1時まで、設置決議案の提出者は議会運営委員及びオブザーバー、調査事項は(1)昭和55年における異常気象による冷害対策の推進をはかる。(2)各委員会所管の前号関係事務について連絡調整を行う。)のとおり設置することに異議なく決定。
- ⑨ 第3回定例会の日程について、10月11日は休会とし、振替えとして10月13日(月)に一般質問を行うこととし、次のとおり取り進めることに異議なく決定。

▽第3回定例会日程

9月30日	本会議(提案説明)
10月1日～6日	休会
7日・8日	本会議(代表質問)
9日	同(一般質問)
10日～12日	休会
13日・14日	本会議(一般質問)
15日	同(一般質問、予算特別委員会設置)
16日～22日	休会
23日	本会議

- ⑩ 総務部長から、カナダ・アルバータ州との姉妹都市提携調印式日程について発言の後、委員長から、本件についての取扱いは、日程が近づいた時点で、協議決定する旨を述べ異議なく了承。

- ⑪ 代表質問について、順位は自民、社会、道政、公明の順とすることを異議なく了承。発言時間の使用状況について説明。

常 任 委 員 会

総 務 委 員 会

○ 8月19日(火) 午後1時35分、第5委員会室において開議、午後2時32分散会
委員長 伊藤 知則(自民)

一 般 議 事

- ① 委員長から、さきに実施した宗谷支庁管内の離島振興対策及び地域交通事情調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 委員長から、釧路町の町制施行記念式典出席について口頭報告。
- ③ 委員長から、昭和56年度北海道開発予算に関する中央折衝等の実施についてはかり、異議なく了承。実施時期、派遣委員等については、委員長に一任することとした。
- ④ 開発調整部長から、北海道とカナダ・アルバータ州との姉妹提携調印の日程等について報告の後、委員長から、本調印式に代表団の一員として出席することとなったので了承願いたい旨発言。
- ⑤ 小田原要四蔵委員(社会)から、自然保護問題に関し、日高山脈えりも国定公園指定に係る道自然環境保全審議会の審査経過と見通し、指定申請の見通しと指定の意義、国定公園の予定面積、規模と全国的な比較、本道の自然保護、環境保全に対する現状認識と基本的な取り取り方について
(関連して、舟山広治委員(社会)から、自然環境保護上の問題点並びに予定開発行為の資料による提出方について)
質疑、意見及び要望があり、生活環境部長から答弁。
- ⑥ 小田原要四蔵委員(社会)から、静岡駅前地下街ガス爆発事故に関し、本事件から得た教訓、本道における地下街の防災体制の現状と消防法の保安規定との関連、防災体制の十分性と地下街のガス取扱いの見直し及び防災訓練についての考え方、関係部局等との連携による対策の必要性等について
質疑及び意見があり、総務部長から答弁。

厚生委員会

○8月1日(金) 午後1時8分、第9委員会室において開議、午後2時11分散会
委員長 宇野 真平(自民)

一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した道内調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 民生部長から、北海道立福祉村療護居住棟新築工事の契約に係る専決処分について説明。
- ③ 民生部長から、国際障害者年専門委員会の設置及び同委員の委嘱について報告の後、
保格博夫委員(社会)から、今後の障害者対策に係る専門委員会のあり方、難病連の専門委員会への参画についての考え方、障害者に対する道庁及び議会の施設設備のあり方について関係部への問題提起方等について
質疑、意見及び要望があり、民生部長から答弁。
- ④ 民生部長から、北海道ウタリ生活実態調査の実施結果について報告。
- ⑤ 民生部長から、社会福祉法人岩見沢緑成園の運営状況について説明。
- ⑥ 衛生部長から、合板及び合板製家具の試買検査の実施結果について報告の後、
保格博夫委員(社会)から、道内製品と道外製品を検査した理由、有害物質の使用規制と業界指導に係る道の今後の取り組みについて
質疑があり、衛生部長から答弁。
- ⑦ 輪島幸雄(社会)から、札幌高裁におけるスモン患者との和解勧告に伴う製薬会社への勧告受け入れについての道の働きかけについて
質疑及び意見があり、衛生部長から答弁の後、
輪島幸雄委員(社会)から、スモン患者の早期救済に係る道議会としての取り組み方について発言があり、委員長から応答。
- ⑧ 山家勇委員(社会)から、公営住宅法の改正との関連における寡婦住宅の建設に対する考え方について
質疑及び意見があり、民生部長から答弁。

商工労働委員会

○8月5日(火) 午後2時29分、第8委員会室において開議、午後3時5分散会
委員長 池島 信吉(社会)

一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した家庭用灯油の価格の抑制に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 関根建二委員(社会)から、採石事業に係る公害防止に関し、認可に当たっての基本的な考え方、事業地域の公害等の防止に対する道の指導と措置、札幌市南区の採石地区における公害問題の掌握状況と道の対処策、自然環境の保全に対する指導状況、公害問題の解決に向けての抜本的な対応策等
檜林巖委員(社会)から、室蘭市のコールセンター建設計画に係る粉じん等の公害防止対策の考え方について
質疑、意見及び要望があり、商工観光部長から答弁。

○9月17日(水) 午後1時42分、第8委員会室において開議、午後2時49分散会
委員長 池島 信吉(社会)

一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した道内商工労働事情調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 委員長から、道内商工労働事情調査の実施についてはかり、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。
- ③ 労働部長から、北海道雇用基本計画(第4次)について報告の後、
関根建二委員(社会)から、第1次から第3次計画と第4次計画との基本的な相違点、計画策定にあたって労使双方から意見を求めなかった理由、職業安定審議会において意見の追加、修正等が出された場合の取り扱い、計画書の公表についての考え方、第3次計画における55年度産業別就業人口推計値と第4次計画の推計人口との比較及び推計の方法、完全雇用の実現見通し、道発展計画と第4次計画との整合性、有料職業紹介所の年次別認

可状況、有料職業紹介所と職業安定所との関係、有料職業紹介所の取り扱い実績、看護婦・家政婦紹介所及び北海道看護対策協会の活動状況と役割り、有料職業紹介所の実態と活動状況の把握、身体障害者の法定雇用率未達成企業の実態と今後の雇用見通し及び第4次計画における取扱い方等について
質疑、意見及び要望があり、労働部長から答弁。

- ④ 企業局長から、大夕張ダムの嵩上げに伴う二股発電所の移設について説明。
- ⑤ 鈴木誠二委員（社会）から、灯油の供給量と今期の灯油価格の見込み及び業界に対する値下げ指導の考え方について
質疑及び要望があり、商工観光部長から答弁。

農 務 委 員 会

○8月4日(月) 午後1時30分、第7委員会室において開議、午後3時22分散会
委員長 武部 勤（自民）

一 般 議 事

- ① 委員長から、さきに実施した昭和55年産生産者米価に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 農務部長から、気象の経過と農作物の生育状況について説明の後、
岡本栄太郎委員（社会）から、気象の状況と水稻への影響について
質疑があり、農務部長から答弁。

- ③ 農務部長から、昭和55年産生産者米価の価格決定について説明の後、

岡本栄太郎委員（社会）から、生産者米価の決定等本道稲作をめぐる情勢の見通しと道の今後の対応、道産米の自主流通に対する考え方等について

質疑及び意見があり、農務部長から答弁の後、委員長から、稲作問題について本委員会終了後、協議会を開催する旨発言、引き続き、

岡本栄太郎委員（社会）から、道産米の自主流通に対する道と食糧庁との協議内容及び道の基本姿勢

湯田倉治委員（道政）から、自主流通の決意表明団体と機関決定の範囲

吉野之雄委員（社会）から、全道農協組合

長会議における自主流通の決定と組合員との関係

委員長から、自主流通について組合員等下部段階へ浸透されないことの懸念について
質疑及び意見があり、農務部長から答弁の後、川口常人委員（自民）から、理事会の開催方について発言。ついで、委員長から、本問題について、委員会終了後、協議会で討議する旨発言。

- ④ 委員長から、道内農業事情調査の実施については、異議なく決定。実施時期、派遣委員等については、委員長に一任することとした。
- ⑤ 岡本栄太郎委員（社会）から、(1)雪印乳業の引き受け乳量削減問題に関し、ホクレンと雪印との交渉経過及び道のあつ旋内容、問題解決の目途と道の対応姿勢等 (2)道産乳製品の本州輸送船舶の動向把握と対策の必要性について
質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁。

○9月1日(月) 午後2時28分、第7委員会室において開議、午後6時43分散会
委員長 武部 勤（自民）

一 般 議 事

- ① 委員長から、さきに実施した第2期水田利用再編対策に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 委員長から、北海道農業危機突破総決起大会への委員参加については、異議なく決定。

- ③ 農務部長から、気象の経過と農作物の生育状況について報告の後、

岡本栄太郎委員（社会）から、冷害対策の考え方と適切な対処方について

質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁。

- ④ 農務部長から、昭和56年度国費予算要求の主要事項について報告の後、

大平秀雄委員（自民）から、牛乳過剰下における新酪農村事業等の推進理由、高度転換モデル事業の内容等について

質疑及び意見があり、農務部長から答弁。

- ⑤ 農務部長から、新生乳検査体制検討委員会

の検討結果について報告の後、

神本三也委員（社会）から、新生乳検査体制検討委員会の位置づけ・性格及び委員の資格、構成等に係る問題点と道の基本的な考え方等

渋谷澄夫委員（社会）から、検討会における委員の代理出席の有無及び専門家の範囲、具体的な意見の内容等

岡本栄太郎委員（社会）から、検討会の委員の構成のあり方と乳業メーカーを多数含めた理由、道酪農検査所の廃止に伴う新検査体制等についての道の基本方針等について質疑、意見及び要望があり、農務部長及び参事から答弁。

- ⑥ 農務部長から、昭和55年産自主流通米の助成等について報告の後、

岡本栄太郎委員（社会）から、自主流通に係る問題点と道の基本的取り組み姿勢及び具体的対策の提示時期

渋谷澄夫委員（社会）から、道産米の流通実態等自主流通に係る事実関係について食糧庁等への反映方について

質疑及び意見があり、農務部長から答弁。

- ⑦ 岡本栄太郎委員（社会）から、(1)減反問題に関し、第2期水田利用再編対策等減反及び転作奨励金をめぐる国の動きと全国知事会等における知事の対応姿勢等 (2)てん菜等畑作物価格決定に当たっての取り組み

渋谷澄夫委員（社会）から、減反問題に対する取り組みに関し、議会の第2期水田利用再編対策に係る要望意見書を踏まえた対応について知事への意見具申方、

工藤啓二委員（公明）から、減反問題等に対する北海道農業検討会の実態

神本三也委員（社会）から、雪印乳業の牛乳削減問題に関し、ホクレンと雪印乳業の両者に対する道のあつ旋の基本的な考え方、本問題の背景、両者間の不信感についての認識、乳価への影響と国への働きかけ方、本問題に係るチーズ国産化問題等に対する的確な対処方等について

質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁。

建設委員会

○8月5日(火) 午後1時25分、第4委員会室において開議、午後2時8分散会
委員長 水沼 徳一郎（自民）

一般議事

- ① 委員長から、十勝及び日高支庁管内における静内中札内線（仮称）道路計画箇所調査の実施についてはかり、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。

- ② 委員長から、昭和56年度北海道開発関係予算に関する中央折衝の実施についてはかり、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。

- ③ 土木部長から、静内中札内線（仮称）の道路計画に関する環境影響評価書検討会議の検討結果等について報告の後、

湯本芳志委員（社会）から、検討会議の指摘事項に対する今後の調査等の考え方と評価書への反映方法、動植物に係る再調査実施の考え、再評価までの見通し、実測とアセスメント及び道道認定の関係等について生活環境部と協議し、次回委員会での的確な答弁方等

藤井虎雄委員（社会）から、地形、地質に係る再調査の考え方、評価書の修正等の作業進行の見通しと実測の位置づけ等

伊藤豪委員（道政）から、札内川流域における多目的ダムの建設計画と道路計画との関係に対する認識等について

質疑、意見及び要望があり、土木部長から答弁。

- ③ 住宅都市部長から、小樽臨港線の都市計画の変更に関するその後の経過について報告。

- ④ 湯本芳志委員（社会）から、建設業審議会の答申に関し、答申の建設労働者対策において労働安全を含めた労働環境問題が提起されていない理由、「近代化に関する方策の答申」が出された背景と答申に対する今後の行政指導の取り組み等について

質疑及び要望があり、土木部長から答弁。

○8月19日(火) 午後1時20分、第4委員会室において開議、午後1時37分散会

委員長 水沼 徳一郎（自民）

一 般 議 事

① 委員長から、さきに実施した静内中札内線（仮称）道路計画箇所調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。

② 土木部長から、さきの委員会において湯本芳志委員（社会）の静内中札内線（仮称）の環境影響評価に係る質疑に対し答弁を保留した件について発言の後、

湯本芳志委員（社会）から、評価書検討会議の指摘に係る評価書の修正等と対処策、道道認定の取扱いについての生活環境部との協議内容等

藤井虎雄委員（社会）から、前回の委員会後における評価書の修正作業等の進行状況について

質疑及び意見があり、土木部長から答弁の後、萩上元春委員（社会）から、本件に係る委員会招集のあり方等について発言があり、委員長から応答。

○ 9月6日（土） 午前10時38分、第4委員会室において開議、午後零時55分散会
委員長 水沼 徳一郎（自民）

一 般 議 事

① 委員長から、さきに実施した昭和56年度北海道開発関係予算に関する中央折衝並びに総務、厚生との3委員会合同による胆振地域の低気圧による大雨災害状況調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。

② 土木部長及び住宅都市部長から、低気圧による北海道南西部の大雨災害状況について報告の後、

藤井虎雄委員（社会）から、時間雨量の最高値、被害箇所の危険区域指定の有無と土質等の関係及び今後の対策等

浅野俊一委員（公明）から、室蘭市大沢団地の被害に関し、急傾斜地の危険地域における宅地造成の許可のあり方と建築基準法上の確認と規制及び他部との連携による対処方等

湯本芳志委員（社会）から、有珠山の災害・白老町の緑泉郷団地の被害等の実態と今後の住宅行政に対する取り組み方

萩上元春委員（社会）から、室蘭地区、道南地区等の急傾斜地域の整備及び災害復旧予

算の大幅な増額、亀田川改修工事の早期完成等について

質疑、意見及び要望があり、土木部長及び住宅都市部長から答弁。

③ 住宅都市部長から、小樽臨港線の都市計画の変更について報告の後、

藤井虎雄委員（社会）から、北海道都市計画地方審議会における予備審査及び本審査の議事録の提出方について

要求があり、住宅都市部長から答弁。

④ 住宅都市部長から、第4期住宅建設5か年計画の策定並びに北海道公営住宅家賃変更の概要について報告の後、

浅野俊一委員（公明）から、5か年計画と家賃の変更に關し、既存住宅の整備の考え方、家賃の値上げに対する見解、市営住宅の管理体制との比較における道の対応等について

萩上元春委員（社会）から、家賃の値上げによる道民生活への影響、道営住宅の家賃の滞納に対する処置と市町村との敷金の格差、敷金引下げに係る条例改正について既入居者に適用しない理由及び値上げ反対期成会の対応、現在の滞納額の管内別一覧表と敷金1か月分を返還する場合の所要額についての資料提出方

佐々木利昭委員（自民）から、家賃の算出方法におけるの利率の根拠法令と公定歩合の変更があった場合の取扱い等について

質疑があり、住宅都市部長から答弁。

⑤ 住宅都市部長から、道立総合運動公園の設置の概要について報告の後、

浅野俊一委員（公明）から、64年国体の開・閉会式の会場及び陸上競技場等の施設の設置場所に対する考え方と総合運動公園との関係等について

質疑があり、住宅都市部長から答弁。

⑥ 土木部長から、さきの本委員会において湯本芳志委員（社会）から質疑のあった静内中札内線の環境影響評価に係る検討会議の意見書の措置事項等について答弁の後、

湯本芳志委員（社会）から、評価書の訂正、追加の手続きに關し、排ガス問題の追加の手法と妥当性、動植物の現状調査、河川の水質に係る取扱いと進捗状況及び道道認定案の議会提出時期との関係、環境影響評価条例第19

条に基づく評価書の確定と修正についての考え方及び現状調査等に係る今回の追加、修正手続きとの整合性等

藤井虎雄委員（社会）から、環境影響評価書に関し、評価書の修正手続についての土木部と生活環境部との協議内容及び今後の調査の進め方等について

質疑及び意見があり、土木部長から答弁の後、

藤井虎雄委員（社会）から、本件に対する今後の委員会審議の進め方について発言があり、委員長から理事会において協議する旨応答。理事会開催のため、午後零時51分休憩、午後零時54分再開。委員長から休憩中の理事会における協議の結果を報告。

農地開発委員会

○8月5日(火) 午後1時24分、第3委員会室において開議、午後1時50分散会
委員長 高田 忠雄（道政）

一 般 議 事

① 委員長から、さきに実施した道内農業基盤整備事業事情調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。

② 農地開発部長から、道営工事の第1・四半期発注状況について説明の後、

笠島保委員（社会）から、土建業者倒産防止、民需拡大策としての公共事業の発注に関し、地域性の配慮、他部所管の関連基盤整備事業・商業流通関係事業との連携等事業執行のあり方についての検討方

中川義雄委員（自民）から、Cランク以下の業者に対する発注率の前年対比と原則等級指名の影響及び発注拡大の対策、救済措置としてのジョイント・ベンチャー方式の活用方

土屋良三委員（自民）から、道外業者に対する工事発注の姿勢と道内業者の保護、育成についての検討方

青木延男委員（社会）から、格付別発注状況の具体的内容についての提示資料への配慮、下位ランク業者のランクアップに対する的確な対応方等について

質疑、意見及び要望があり、農地開発部長から答弁。

水 産 委 員 会

○8月5日(火) 午後1時34分、第6委員会室において開議、午後2時10分散会
委員長 小笠原 孝（自民）

一 般 議 事

① 水産部長から、さけ定置漁業における「ノルマ制」について報告。

② 水産部長から、ゼンリングローリー号遭難に伴う油流出について報告。

③ 委員長から、さきに実施した道内における水産事情調査及び韓国漁船に対する漁業水域法の適用に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。

④ 星野健三委員（社会）から、道漁連の告訴問題に対し、告訴の可能性、罪状及び時期

川崎守委員（共産）から、函館の石崎漁協の運営に関し、総会における決算等の審議状況及び流会の経過、自営漁業に従事した役員に対する報酬についての法解釈と支払状況の実態調査方等について

質疑及び要望があり、水産部長から答弁。

○9月11日(木) 午前10時47分、第6委員会室において開議、午前11時5分散会
委員長 小笠原 孝（自民）

一 般 議 事

① 水産部長から、韓国漁船問題について報告。

② 委員長から、韓国漁船問題に関する中央折衝について、正副委員長において実施することをはかり、異議なく決定。

③ 委員長から、さきに実施した昭和56年度開発予算に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。

文教林務委員会

○8月4日(月) 午後1時18分、第10委員会室において開議、午後1時43分散会
委員長 熊谷 克治（社会）

一 般 議 事

① 委員長から、さきに実施した道内における文教林務事情調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。

- ② 林務部長から、湧別町森林組合に関するその後の経過について報告。
- ③ 米村邦敏委員（社会）から、(1)函館の国道5号線沿のアカマツ並木の枯損の原因と調査結果及び保護対策、(2)マツクイ虫による被害発生の可能性と道の対応について質疑があり、林務部長から答弁。

本日聴取した陳情

秩父別高等学校の道立移管について

秩父別町議会議長

特 別 委 員 会

石炭対策特別委員会

○9月25日(木) 午後1時42分、第11委員会室において開議、午後3時38分散会
委員長 工藤 万砂美（自民）

開議に先だち、北炭夕張炭鉱(株)、夕張市役所及び夕張商工会議所の関係者から、北炭夕張新鉱災害による復旧、再開等について要望があった。

① 委員長から、さきに実施した北炭夕張新鉱の災害現地調査並びに炭価の引上げに関する中央折衝等の概要について報告書により報告、異議なく了承。

② 商工観光部長から、北炭夕張新鉱の坑内火災と復旧状況の概要について報告の後、

石川十四夫委員（道政）から、坑内復旧対策の現状、生産再開の目途、南部・北部地域の整備等完全復旧の見通し、従業員の就労及び賃金支給の状況と今後の見通し、下請企業の坑員の就労状況、従業員の生活資金の確保対策、道の資金融資の考え方と第3回定例会中に取り組む意思、災害復旧に対する北炭の姿勢と関係会社及び国の支援体制等

湯田倉治委員（道政）から、南部・北部地域の通気系統等の整備の見通し及び今後の出炭計画との関係、新鉱従業員の他鉱への配置による出炭量の確保、道の資金対策の第3回定例会中における措置方等

山家勇委員（社会）から、賃金の支給に対する配慮、事故の分析・坑内骨格構造及び出炭問題に係る技術交流の促進方について質疑、意見及び要望があり、商工観光部長から答弁。

③ 山家勇委員（社会）から、(1)炭価引上げに対する知事の姿勢、(2)苫東コールセンター、石炭火発に関し、コールセンターの着工及び準備委員会発足の時期、道東火発、留萌火発についての進捗状況、(3)炭鉱跡地の廃屋放置による問題点と環境整備対策、(4)露天掘炭鉱の実態と跡地の再利用等

藤井虎雄委員（社会）から、(1)炭価問題に関し、炭価引上げに係る国への要請内容と積極的な取り組み方、他のエネルギーとの比較

及び基準炭価格の決定に対する考え方、(2)露天掘の推進と北電の内陸火発との関連、(3)石炭火発による放射線物質の実測調査の考え、(4)苫東コールセンターの第3セクター方式に対する道の検討状況等

宇川源吉委員（自民）から、(1)住友赤平炭鉱の坑内自然発火事故に関し、資金対策等についての道の対応方、(2)炭価問題に関し、炭価形成に係る北電の企業責任と社会性に対する道の指導等について

質疑、意見及び要望があり、商工観光部長から答弁。

北方領土対策特別委員会

○8月18日(月) 午後1時20分、第3委員会室において開議、午後1時30分散会
委員長 田 莉子 政太郎(自民)

- ① 領対本部長から、昭和56年度北海道開発予算の北方領土関係主要要望事項について説明。
- ② 委員長から、昭和56年度北海道開発予算主要要望事項に関する中央折衝の実施については、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。
- ③ 領対本部長から、参議院安全保障及び沖縄、北方問題に関する特別委員会の道内視察の概要について報告。

公害対策特別委員会

○8月5日(火) 午後3時46分、第5委員会室において開議、午後5時59分散会
委員長 和田 勝之(自民)

- ① 生活環境部長から、最近の水質に係る立入検査の状況について報告の後、
岡本栄太郎委員（社会）から、千歳市相模ハム工場の違反の内容、道の立入検査の実施の状況、改善命令等の内容、企業に対する指導の方途、立入検査の執行体制等について質疑、意見及び要望があり、生活環境部長から答弁。
- ② 生活環境部長から、静内中札内線（仮称）に係る環境影響評価について報告の後、
関根建二委員（社会）から、環境影響評価書検討会議の報告書に対する基本的な考え方、

現状調査に係る動物調査の適切な時期及び期間、地質等についての調査内容等、検討事項の修正後における再評価に対する考え方

星野健三委員（社会）から、再評価をしないとする考え方について

質疑及び意見があり、生活環境部長から答弁。

- ③ 委員長から、道内調査の実施については、異議なく決定。実施時期、派遣委員等については、委員長に一任することとした。

○9月4日(木) 午後2時13分、第2委員会室において開議、午後3時49分散会
委員長 和田 勝之(自民)

- ① 環境影響審査課長から、新女満別空港事業に係る環境影響評価の手続きの経過について報告。
- ② 公害対策課長から、合成洗剤対策の推進状況について報告の後、
長岡寅雄委員（社会）から、合成洗剤対策に関し、製造段階における対策、国に対する要請等道のとった措置について
質疑があり、生活環境部長から答弁の後、長岡寅雄委員（社会）から、委員会としても要請行動をとるべき旨の発言があった。
- ③ 委員長から、さきに実施した道内調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ④ 関根建二委員（社会）から、静内中札内線道路設置に関し、土木部作成の環境影響評価書に係る基礎資料の作成時期等、評価書検討会議の設置の目的と条例との関連及び修正意見に対する考え方、各項目の意見に対して土木部において確認されていない部分について次回委員会での報告方、今後の評価書のあり方についての所見等

柳谷正一委員（公明）から、評価書検討会議の性格について

質疑、意見及び要望があり、生活環境部長から答弁。

企業会計決算特別委員会

○7月11日(金) 午後4時12分、第1委員会室において開議、午後4時25分散会
委員長 藤井 虎雄(社会)

正副委員長の互選

- ① 作田政次臨時委員長(自民)から、委員長互選の方法についてはかり、中崎昭一委員(自民)の動議により指名推選の方法をもって、藤井虎雄委員(社会)を委員長に選出。
- ② 委員長から、副委員長互選の方法についてはかり、米村邦敏委員(社会)の動議により指名推選の方法をもって、平野明彦委員(自民)を副委員長に選出。
- ③ 本委員会の今後の運営等について協議の結果、本委員会の運営に当たっては、自民及び社会各2名、道政及び公明各1名、計6名の理事を選び、その協議により行うことをはかり異議なく決定。理事には、中崎昭一委員(自民)、佐々木行雄委員(自民)、吉田英治委員(社会)、米村邦敏委員(社会)、小田部善治委員(道政)、伊藤武一委員(公明)をそれぞれ選出。
- ④ 本委員会の申し合わせ事項「(1)質疑の方法は、通告の形式によることとし、一括してこれを行うこと。ただし、一問一答の形式により行う場合は、その旨を委員長に申し出ること。(2)発言の順位は、本会議における一般質問に準ずること。(3)委員の交代は、原則として認めないこと。(4)資料要求については、あらかじめ理事会において検討し、委員会の決定により行うこと。」についてはかり、異議なく決定。
- ⑤ 委員外議員の発言等の取り扱いについて、委員会の決定により、委員の通告質疑終了後に許可すること、書面審査及び資料要求は認めないことに決定。

○7月18日(金) 午後10時、第11委員会室において開議、午後10時8分散会
委員長 藤井 虎雄(社会)

- ① 議席についてはかり、異議なく配付の議席表のとおりとすることに決定。
- ② 審査日程について、配付の日程案を一部変

更し決定。

- ③ 報告第44号ないし第50号を議題とし、衛生部長、林務部長、住宅都市部長及び公営企業管理者から各会計決算の概要並びに代表監査委員から各会計決算に対する審査意見について説明を聴取。
- ④ 決算審査のため必要な資料についてはかり、異議なく配付の項目により要求することに決定。
- ⑤ 付託の報告第44号ないし第50号について、閉会中継続審査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。
- ⑥ 委員長から、企業会計決算に係る現地調査の実施についてはかり、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。
- ⑦ 今後の審査日程について、7月21日から25日まで、7月28日から31日まで、8月5日から8日までと8月13日及び18日、19日は委員会を開かず書面審査を行うことに決定。
- ⑧ 書面審査室を第2委員会室に設置することを了承。

○8月20日(水) 午前10時24分、第2委員会室において開議、午後3時14分散会
委員長 藤井 虎雄(社会)

- ① 委員長から、7月18日の委員会決定に基づく資料の提出があった旨を報告。
- ② 委員長から、さきに実施した企業会計決算に係る現地調査の概要について報告、異議なく報告書のとおり了承。
- ③ 報告第45号(昭和54年度北海道有林野事業会計決算に関する件)。議題とし、林務部所管に対する質疑に入り、
榎林 巖委員(社会)から、
(1) 道有林野事業の経営に関し、道有林経営の基本方針、54年度事業執行に当たっての特別留意事項・資源の増大・公益的機能拡充についての具体的対策、54年度決算収支について収益が大幅に伸びた理由、木材の価格動向の把握内容、55年度の経営見通し
(2) 事業実績等に関し、収穫調査のあり方、基本計画における計画量の確保、山元の技術職員確保の必要性、収穫量の予測と被害

木の扱い

- (3) 造林計画に関し、人工林・天然林の造林計画内容、計画と実績の相違、基本計画への影響、造林事業を請負制に変更した理由と発注のあり方、保育事業の基準と具体的計画
- (4) 道有林産物の販売に関し、立木販売と製品販売の比率、販売に当たっての基本的な考え方、業種区分と地帯区分の内容、一般競争入札を行わない理由、パルプ材の減少と地元業者に対する配慮、製品原価の地域格差の理由
- (5) 林道工事に関し、林道開設の目的別内容、地域別森林施業計画との関係等
- (6) 企業債に関し、企業債発行の目的、償還見通し、発行状況と金利の内容、収益増の見込に伴う企業債減額の考え
- (7) 委託調査費に関し、事業内容と成果、経費を企業会計で負担することの可否
- (8) 負担金に関し、道林道協会及び道治山協会に対する負担金の性格、非構成員が負担金を支出することの妥当性
- (9) 林産物の検査に関し、検査業務を民営に移行した理由、委託料の性格
- (10) 定期刊行物の購入に関し、道有林関係以外の定刊購入の実態と妥当性等について質疑、意見及び要望があり、林務部長から答弁があって林務部所管に対する質疑を終結。

○ 8月21日(木) 午前10時35分、第2委員会室において開議、午後2時21分散会
委員長 藤井 虎雄(社会)

- ① 報告第47号(昭和54年度北海道電気事業会計決算に関する件)、報告第48号(昭和54年度北海道工業用水道事業会計決算に関する件)、報告第49号(昭和54年度北海道有料道路事業会計決算に関する件)、報告第50号(昭和54年度北海道工業団地開発事業会計決算に関する件)を一括議題とし、企業局所管に対する質疑に入り、

鈴木 誠二委員(社会)から、

- (1) 道営電気事業に関し、公営企業の運営に対する姿勢、道営発電事業の経営に対する現時点での意義及び福祉への反映方、発電電力の自家利用の可能性について検討の有

無、自家利用及び振りかえ供給等についての今後の考え方、電源開発計画の今後の見通し、電気事業資金の効率的な運用方策、企業局職員条例定数と現職員配置数の状況及び適正な定数改正の考え等

- (2) 有料道路事業に関し、支笏湖の有料道路の起債償還・借入金完済の時期及び維持補修費の状況、一般道路として早期無料開放の考えと今後の見通し
- (3) 工業団地開発事業に関し、業務委託範囲の明確化、苫小牧東部住宅及び工業団地用地の早期売却とその効率的利用の促進に対する見解等について

質疑、意見及び要望があり、公営企業管理者及び企業局長から答弁があって、企業局所管に対する質疑を終結。

○ 8月22日(金) 午前10時45分、第2委員会室において開議、午後零時42分散会
委員長 藤井 虎雄(社会)

- ① 委員長から、8月23日の日程について、書面審査に変更することをはかり、異議なく決定。
- ② 報告第44号(昭和54年度北海道病院事業会計決算に関する件)を議題とし、衛生部所管に対する質疑に入り、

小田原 要四蔵委員(社会)から、

- ① 道立病院の経営に関し、医療体制の基本的問題点に対する現状認識、公的な医療機関の役割に対する見解、道立病院についての現状認識及び他府県病院との比較において収益率に差がある理由、道立病院の結核病床の利用率と赤字要因との関係及び有効活用策、累積赤字の原因把握と積極的な対応策、企業債の償還の目途、費用節減及び医薬品購入価格差の解消対策、道立病院間の収益率の較差の実情及び経営状況悪化に対する原因把握と改善策、一般会計繰入金の実態と繰入基準改正に対する考え方
- (2) 医師確保等に関し、医師の充足状況の把握、医師確保の抜本的対策及び今後の見通し、道立病院の医師が完全に確保された場合の収益の算定の有無、経営向上のための医療従事者の努力の重要性、今後のわが国の医療体制の展望等について

質疑、意見及び要望があり、衛生部長から答弁があつて、衛生部所管に対する質疑を終結。

○8月26日(火) 午前11時14分、第2委員会室において開議、午後1時28分散会
委員長 藤井 虎雄(社会)

- ① 報告第46号(昭和54年度北海道北広島団地開発事業会計決算に関する件)を議題とし、住宅都市部所管に対する質疑に入り、小田原 要四蔵委員(社会)から、

- (1) 北広島団地開発事業に関し、団地開発後半期の進捗状況及び宅地の処分状況、事業計画の遅延に伴う法的な問題点、宅地処分遅延の原因と問題点、北広島団地会計の借入金及び利息の状況、借入金の利息軽減策、宅地価格の推移及び宅地価格アップ率の民間との比較、宅地価格上昇に伴う宅地処分方策、集合住宅地の用途変更計画の検討の有無及び用途変更に関する考え、団地駅前周辺地区の整備計画の現状及び今後の進め方、団地開発事業の基本構想、道営及び公団住宅の空き家解消対策、計画人口の減少に伴う広島町との財政負担再改定の必要性、生活環境整備と交通網改善の状況、道営による住宅団地開発事業の利点と反省点等について

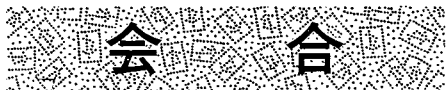
質疑、意見及び要望があり、住宅都市部長から答弁があつて、住宅都市部所管に対する質疑を終結。

- ② 委員長から、付託案件に対する意見調整を各派代表者会議において行うことをはかり、異議なく決定。

○8月27日(水) 午前10時45分、第2委員会室において開議、午前10時49分閉会
委員長 藤井 虎雄(社会)

- ① 委員長から、各派代表者会議における意見調整の結果について報告の後、報告第44号ないし第50号を一括議題とし、報告第48号及び第49号は認定議決、報告第44号ないし第47号及び第50号は意見を付し認定議決することについてははかり、異議なく決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

- ② 委員長から、付託案件に対する審査終了のあいさつがあつた。



10都道府県議会議長会（第120回）

○8月26日(火) 広島県広島市において開催。

地元広島県議長及び知事のあいさつの後、座長に地元議長を選出し、引き続き全国議長会会長のあいさつの後、静岡県議長から8月16日発生した地下街ガス爆発事故に関する報告と謝辞があり、ついで協議に入り、まず、大阪府議長から、前回議決事項の処理結果について報告の後、次の事項について協議、決定。次回開催地を神奈川県に決定して、閉会した。

- 1 家庭用灯油の価格の抑制と供給量の確保について
- 2 公害防止事業に係る財政特別措置法の期限の延長等について
- 3 青少年非行化防止について
- 4 地震防災対策に従事する者を対象とする災害補償制度の改正について
- 5 教科書無償給与制度の存続について
- 6 暴走族対策の強化について
- 7 瀬戸内海浄化対策の推進について
- 8 高等学校新增設用地取得費補助制度の創設及び建物費補助の期間延長と拡充について
(3及び6については調整案〈暴走族等青少年非行化防止対策の強化について〉を可決。)

北海道・東北6県議会議長会（第59回）

○9月18日(木) 宮城県仙台市において開催。

地元宮城県議長及び副知事あいさつの後、座長に地元議長を選出し、議事に入り、山形県議長から、前回議決事項の処理結果報告を行い、これを了承。ついで、次の事項について順次協議、決定し、議決事項の処理方法について、議案第19号（継続審査）を除く18議案及び「冷害対策について」の緊急追加1議案を加え、19議案を全国議長会に送付することとしたほか「北方領土返還要求について」を緊急提出することに決定。ついで、次回開催地を福島県に決定の後、北海道議長から、本会会議のあり方について、提言があり、今後の検討課題とした。ついで、

東北新幹線の建設促進に、反対住民の理解を求める行動について、宮城県から報告の後、全議事務局長から、最近の中央情勢等について説明し、閉会した。

- 1 公立文教施設整備国庫補助制度の緩和措置の継続について
- 2 医療ソーシャルワーカーの制度化について
- 3 家庭用灯油の価格の抑制と供給量の確保について
- 4 「新産業都市建設及び工業整備特別地域整備のための国の財政上の特別措置に関する法律」の適用年限の延長について
- 5 休廃止鉱山の鉱害防止対策の強化について
- 6 ローカルエネルギーの開発促進について
- 7 電源立地地域の振興対策について
- 8 国鉄地方交通線の確保について
- 9 東北新幹線鉄道の建設促進について
- 10 整備新幹線及び青函トンネルの建設促進について
- 11 鉄道輸送網の整備と輸送力の増強について
- 12 地方バス対策の改善強化について
- 13 高速自動車国道の早期建設について
- 14 豪雪地帯対策の拡充強化について
- 15 農業基本政策の確立並びに第2期以降の水田利用再編対策について
- 16 農畜産物の国内生産の目標設定と自給力の強化対策について
- 17 水産業の振興について
- 18 大規模林業圏開発事業の促進について
- 19 地方議会議員及び首長選挙の公営拡充について
- 20 昭和55年異常気象による冷害対策について
(追加議案)
- 21 北方領土問題の早期解決について
(追加議案)

8 月 の メ モ

- 1 日 ○米価審議会は55年生産者米価について政府諮問案どおり基本米価2.3%の引き上げを答申。翌日、政府は持ち回り閣議で正式決定。
○韓国戒厳普通軍法会議検察部は金大中氏ら24人を内乱予備陰謀罪などで起訴。
- 2 日 ○イタリアのボローニャ駅構内で大爆発。死者84人、負傷者188人と同国史上最大、最悪のテロ。6日容疑者を逮捕。
- 3 日 ○第22回オリンピック・モスクワ大会閉幕。
- 4 日 ○カーター米大統領は「ビリーゲート事件」について議会に報告書を提出。
- 8 日 ○人事院は国家公務員の給与改定について勧告。
- 11日 ○米民主党全国大会で、80年大統領選挙の同党候補にカーター大統領を再指名。
- 14日 ○富士山吉田口登山道の7～8合目付近で大規模な落石事故が発生。12人が死亡、29人が重軽傷を負い夏山の事故としては前例のない大惨事となった。
○ポーランドのグダニクス市の港湾労働者が七項目の要求を掲げストに突入。その後、バルト海沿岸都市に波及。
- 15日 ○第62回全国高校野球選手権大会で、本道の南・北代表（札幌商・旭大高）が、本道勢としては初めてそろって3回戦へ進出。
- 16日 ○静岡駅前の地下街でガス漏れから大爆発。死者14人、負傷者199人。
○稚内市立ノシャップ寒流水族館で、1階回遊式円形水そうのガラスが破れ、見学中の12人が負傷。
- 19日 ○日本銀行は公定歩合を0.75%引き下げ、年8.25%とすることを決定。
○東京・新宿駅西口広場のバスターミナルで、バス放火事件発生。バスは全焼、乗客のうち3人が焼死、20人が重軽傷。
- 21日 ○ソ連の原子力潜水艦が沖縄沖で火災を起こし、乗組員9人が死亡、3人が負傷したが、日本側の救助活動を拒否。周辺の空中と海水の放射能検査では異常値は検出されず。日本領海を、日本側の再三の

警告を無視して通過、外務省はソ連に厳重注意（23日）。

- 26日 ○ソ連原水潜の領海通過問題について政府は閣議で「事件の経過の中で領海侵犯説も成り立ったが、ソ連側の事後通告もあり、結果的には無害通過に当たる」との統一見解をまとめた。
- 27日 ○韓国の統一主体国民会議は、無記名投票で全斗煥国家保衛非常対策委員会常任委員長を第11代大統領に選出。
- 28日 ○道開発庁は新道総合開発計画（53年～62年）に基づいて、地域の特性に応じた長期発展の方向と施策を示す「地域総合環境圏の展開構想」を初めて6圏域についてまとめた。
- 29日 ○小樽軍河を約半分埋め立て、6車線道路を建設しようとする道道小樽臨港線建設案を審議していた道都市計画審議会は付帯意見をつけて道原案を認め、知事に答申。
- 30日 ○ポーランドのストライキは17日より事実上終結。

9 月 の メ モ

- 3 日 ○元日本共産党政治局員、伊藤律氏は中国から29年ぶりに帰国。
- 4 日 ○石油公団は石油国家備蓄基地調査で苦東地区に最終的な「ゴー・サイン」を示した。備蓄総容量は616万klで、隣接する道石油共同備蓄の備蓄予定量500万kl)と合わせるとわが国最大の基地となる。
- 6 日 ○本道とカナダ・アルバータ州との姉妹提携調印式が州都・エドモントンで行われ、本道代表団の寺田副知事が調印書に署名した。道議会からは総務委員長が代表団の一員として出席。
- 10 日 ○中国の第5期全国人民代表大会第3回会議は、趙紫陽新首相を選任。
○在札中国総領事館が開館。在札の総領事館は、米国、韓国、ソ連に次いで4番目。
- 11 日 ○農林水産省は、9月1日現在の水稲作柄を発表。平年作100とする作況指数で、全国平均94（不良）、本道90「著しい不良」となった。
○最高裁は小倉簡裁の簡裁判事が起こした担当事件の女性被告との交際問題で国会の裁判官訴追委員会に対し、同簡裁判事の罷免訴追を請求。
○埼玉県警と所沢署は、医療法人「芙蓉会富士見産婦人科病院」の理事長を医師法違反（無資格診療行為）の疑いで逮捕。
- 12 日 ○イランのホメイニ師は、米大使館人質解放の前提として①故パーレビ元国王の財産を返還②在米資産の凍結解除などの4条件を初めて明らかにした。
- 13 日 ○水稲と豆類の冷害が確実となったため、道は冷害対策本部を設置。
- 17 日 ○韓国の軍法会議は、金大中氏に内乱罪などを適用、求刑どおり死刑の判決を言い渡した。
○フセイン・イラク大統領は'75年にイランと締結したアルジェ協定の破棄を宣言。
○道内の金属鉱山で働き、じん肺に浸された患者ら32人が、それぞれの勤務先5社を相手取り、総額10億9千万円余の損害賠償を求める「北海道じん肺訴訟」を札幌地裁に起こした。
- 18 日 ○長崎県対馬沖で「アドミラル・ナヒモフ号」（日本海海戦で沈んだ旧ロシア・バルチック艦隊の巡洋艦）の引き揚げ探索作業中の日本海洋開発は、ナ号からプラチナとみられる延べ棒を引き揚げた。
- 20 日 ○本道沖の韓国漁船操業問題交渉はソウルで開かれていた日韓水産庁長官会談で事実上の合意に達した。主な内容は、本道のオッタートロール禁止ライン内で韓国漁船の操業を5水域、6カ所に限り一定期限認め、操業隻数は千トン未満のもの、17隻に規制するなど。
- 22 日 ○石狩町の公共事業をめぐる汚職事件に絡み、収賄罪に問われた鈴木元石狩町長に対し、札幌地裁は懲役2年、追徴金540万5千円の実刑判決を言い渡した。
- 23 日 ○伊東外相は第35回国連総会演説で特に北方領土問題に言及し、領土の返還と軍事力撤去を要求、ソ連の具体的行動を求めた。翌日、国連ソ連代表部でグロムイコ外相と会談したが、平行線に終わった。
○イランとイラクの国境紛争は、イラク地上軍がイラン領内へ越境進撃を開始。一方、イラン空軍は主要都市を波状攻撃するなど、一挙に全面戦争にエスカレート。
- 26 日 ○「石油ヤミカルテル事件」の東京高裁判決公判で、「生産調整」では被告側の違法性の認識を否定し、石油連盟などを無罪に。「価格協定」については石油元売り12社と各社幹部14人に罰金、懲役刑を言い渡した。
- 29 日 ○道農務部発表（16日現在調査）の冷害による農作物の被害見込み総額は、水稲を中心に874億円に上り、51年冷害（923億円）に迫っている。
○本道の交通事故死による死者は331人となり、愛知県を抜いて再び全国ワースト1となった。
- 30 日 ○第3回定例道議会開会。